

# ASTAGE COLLEGE LIVE NEWS



## REPORT ON LIVE LEARNING

### ライブ学習レポート 株式会社 大西製作所 (大阪市鶴見区) 訪問記

8月24日(木)、『株式会社 大西製作所(大阪市鶴見区)』に訪問してきました。地下鉄横堤駅から徒歩10分。会社に着すると、まずその広さ、庭ぐらゐの広さがあるスペースに、A棟、B棟、C棟と大きな建物が並びます。社内に入ると、まずは大西社長(写真右下)から会社の概要説明を受けます。わかりやすく丁寧な言葉選びに、緊張していた参加者も次第に集中力を高めていきました。



代表取締役社長 大西隆裕 氏

同社は、1959年(昭和34年)に大西社長のお爺さんが創業されました。創業当時は、近隣にあった大きな企業とのパートナーとして鉄や金属の加工、コンベアの製造を行っていたそうです。そこからお父さんの代を経て、大西社長が社長に就任されると、1つの企業とだけ取引する方式(一社依存型)からの脱却を目指して新たな販路を拡大。現在では、全体の8割は大西社長の代に入ってからの新規事業という大改革を進め、新たに環境保全や社会貢献といった社会性の高い事業にも積極的に取り組んでおられるそうです。

お話の後は、いよいよ工場見学です。A棟では部品加工、B棟では組立・溶接加工、C棟では塗装と、それぞれ建物ごとに工程が分けられています。機械加工の大元となる部品が巨大なレーザー加工機によって切り出していたり、これらの部品を何百と組み合わせ一つの機械を組み立てられる工程を見学しました。プラモデルのような組立説明書はなく、これまでの経験やノウハウをもとに組み立てるといいます。熟練の技と経験に裏打ちされた職人技に一同驚きの表情です！



一同、緊張しながら大西社長のお話に聞き入っています！



見たことも無いような大きな部品が並ぶ工場に、参加者一同、興味津々です！



組立・塗装を終えた、とても大きな完成品を見上げる一同。



貴重なヘルメット姿で記念撮影！

工場から戻ると、社員さんとの対話の時間です。ベトナムから来たアンさんと中川工場長(写真左下)からお話を聞きます。アンさんは、4年前に外国人高度技術者として、ベトナムから日本に来られました。ベトナム時代には大学を卒業した後、カメラマンやその他の色々な仕事に就いた経験のある、バイタリティーあふれる方です。日本に来た理由を尋ねると「日本の技術を学ぶために来ました。日本にきた理由を尋ねると「日本にきた理由を尋ねると「日本にきた理由を尋ねると」

「日本とベトナムの働き方の違いってなんですか？」との問いかけに「日本のやり方、仕事のやり方、ルールが一杯ある。ルールを守るためには、他の人とのコミュニケーションが必要。」との回答がありました。その他にも、幾つかの質問が出たのですが、いずれも丁寧に受け答えしてくれたアンさん。「日本の文化を沢山勉強します！」という言葉締めくくったアンさんが印象的でした。

続いて、アンさんを支える側の中川工場長への質問へと移りました。「アンさんが職場に定着して4年目となりますが、どのような要因があつてここまで定着するようになったと思いますか？」との質問に中川工場長は「アンさんの持ち前の性格の明るさが大きいと思いますね。」と、まずはアンさんのキャラクターの良さを説明。「ベトナムの仕事のスタイルは欧米に近くて、一人ひとりがそれぞれに進めて行く様式なので、みんなで協力しながら進める日本のスタイルは馴染みが薄かったようです。それでも持ち前の性格の良さやその明るさで頑張ってくれています。」との高評価に、隣に座るアンさんも、少し照れくさそうに笑っていました。



ベトナムから来たアンさん(左)と中川工場長(右)



ステキな笑顔で記念撮影。皆さん、お疲れさまでした!!

アンさんのこれからについて中川工場長は「持ち前の明るいキャラクターを大事にしながらも、もっと学んで、成長して、また学んで…と繰り返し成長して欲しい。」と期待の言葉が寄せられました。大西社長からは「わが社が大切にしている仕事に向き合う姿勢を二人ともが体現してくれている。新しいことに自ら学び挑戦していく社員。その周りの仲間もそれをフォローしようとしてくれている。これからも社会に役立つものをつくり続けていきたい。」とのコメントがありました。

ASTAGEに戻ってからは、見学や講話の振りかえりです。色々な緊張から解放された参加者には安堵と適度な疲労感が相まって、ゆったりとした空気が流れていました(笑)

そんな中、ポツリポツリと自らが感じたことを自分の言葉で話します。中でも、「もしも自分がアンさんの立場だったら…。」という話には沢山の声寄せられました。「見知らぬ国に1人で…って、自分なら到底できない。」「言葉も通じにくい状況で、あんな風に会社の人たちと仲良くできるなんてすごい。」など、各々の率直な意見が出されました。

これから社会や企業の中で活躍することを目指す参加者たちにとって、異国の地で明るく、そしてモチベーションを高く保つて日々努力を重ねるアンさんの姿は、自分たちの未来と重なる存在として輝いて見えたようです。

新たな挑戦を続ける若者を支える、中川工場長をはじめとする仲間の姿や、それらの活動の器となる会社を支え、彼らの成長を見守る大西社長という関係性から学ぶべきことは多いと感じました。

大西社長、中川工場長、アンさん、そして大西製作所の皆さん。貴重な機会を本当に有難うございました！